



## 環境問題 大学生が議論

### 信大で「大会」全国から70人

環境活動に取り組む全国の学生団体が集まり、日頃の活動発表などをする「環境マネジメント全国学生大会」が6、7日、上田市常田の信州大繊維学部で開かれた。県内外のグループワークでアイデアを出し合う学生たち

8大学から約70人が参加し、環境問題への考えを深めた。7日は学生らが5、6人のグループに分かれて意見交換。省エネを進めていくにはどうすればいいか、気象変動にどんな対策をとるべきかといったことを議論した。6日は各大学がそれぞれの取り

組みを報告した。

琉球大（沖縄県）法文学部3年の下地桃加さん（21）は「いろいろな学生の考え方を知ることができてよかった。持ち帰って自分たちの活動に生かしたい」。大会実行委員長を務めた信大繊維学部3年の大崎早恵さん（21）は「同世代と環境問題について議論できる機会は貴重。互いにいい刺激になったと思う」と話していた。